

小田原高校 11 期の皆様へ

訃報の知らせです。

かねてより病氣療養中の望月郁文君(11 期 3 組)が、令和 3 年 10 月 2 日に満 80 歳で逝去されました。ここに謹んでお知らせいたします。

詳細は以下宝安寺檀家様への連絡文をご参照ください。

尚、「望月郁文追想展(仮称)」が 11/16-30 宝安寺社会事業部ビル「まある」内の「茶のまある」にて開催されます。小田高 11 期会の皆様からも「望月郁文兄の思い出」について記した記事の出展を大歓迎します。懐かしい写真などあれば添えていただき A4 版 1 枚にて、10 月 25 日までに〒251-0047 藤沢市辻堂 6827-4 佐々木洋様宛、(E-mail:hiroshis@peach.ocn.ne.jp)にご送付、ご連絡お願いいたします。

3 組幹事 遠藤紀忠、辻秀志

令和3年10月9日

お檀家の皆様

定林山宝安寺住職 大水 健晴

檀家総代 岡野 正則

望月郁文東堂老師 逝去のお知らせ(訃報)

朝夕は随分涼しくなり始めた今日この頃、皆様お元気でお過ごしのことと思います。

さてかねてより病氣療養中でありました望月郁文東堂老師が、令和 3 年 10 月 2 日に満 80 歳で逝去いたしました。ここに生前のご厚誼に深く感謝するとともに、謹んでお知らせいたします。荼毘式につきましては、コロナ禍であることも踏まえ、法類・近親者・檀家世話人にて執り行わせて頂きました。

略 歴

昭和 57 年 11 月～平成 26 年 2 月	宗教法人 宝安寺 住職(第35世)
平成 26 年 3 月～現在	宗教法人 宝安寺 東堂
昭和 44 年 6 月	社会福祉法人 宝安寺社会事業部 入職
昭和 45 年 4 月～平成 3 年 3 月	富士学園 (現ほうあんふじ) 園長
平成 3 年 4 月～8 年 3 月／平成 10 年 8 月～18 年 3 月	小田原愛児園長
平成 8 年～現在	社会福祉法人 宝安寺社会事業部 理事長

昭和 15 年に生まれ、戦後の宝安寺の社会事業の只中で育ち、京都大学卒業後NHKで報道記者として働きながら社会的視野を広げ、28 歳で宝安寺に帰山、僧侶としての活動が始まりました。

障がいのある子どもたちと出会い、29 歳で富士学園(現 児童発達支援センターほうあんふじ)の開設に初代園長として携わったことを原点として、51 年間、この地域のために働き、何よりもお一人お一人のお子さんたち、またそのご家族のために何ができるかを思い続け、ひたすら邁進し続けた人生でした。

その中で、お檀家の皆様と親しくなり、様々な境遇の方々の人生に寄り添わせていただいたこと、またお檀家とご家族ぐるみで温かくお付き合いいただけましたことは、本人にとって何にも代えがたい幸福であったと思います。

お檀家の皆様には、宝安寺のみならず社会福祉事業の両方に深いご理解と多大なるご協力を頂きましたこと、心より感謝申し上げます。

本人にとっては、僧侶として生き、同時に社会福祉事業家として歩むことは決して2足の草鞋ではなく、仏教者としての唯1つの道を迷いなく歩んでいくことでありました。

平成26年に住職を退薰し東堂に就任したときも、本人は、改めて修行のやり直しだといって、毎月1度の法話会(十日会)を開催するなど、どこまでも邁進する姿勢とまだまだ勉強しないといけないという想いを最後まで持ち続けていました。

残された私ども住職及び寺族もまた、生前の望月東堂の意志を引き継ぎ、あの笑顔と人柄を忘れず、今後もお檀家の皆様とともに歩んでいく所存です。引き続きのご指導ご鞭撻の程どうかよろしくお願い申し上げます。

本葬につきましては、檀家葬として広くお檀家の皆様にご参列・ご焼香を賜りたいと存じます。

[望月郁文東堂老師（宝安寺第53世）本葬儀日程]（予定）

11月18日（木） 18時00分より通夜

11月19日（金） 10時30分より葬儀

場所 法案時本堂

詳細につきましては、檀家世話人の皆様と共に準備を執り行い、後日ご連絡させていただきます。なお誠に勝手ながら本葬儀までのご香典・ご供花の儀は固くご辞退申し上げます。

最後に、望月郁文東堂老師の冥福を皆で祈りたいと思います。